

RFID在庫管理システム

DI@SSET-HIC

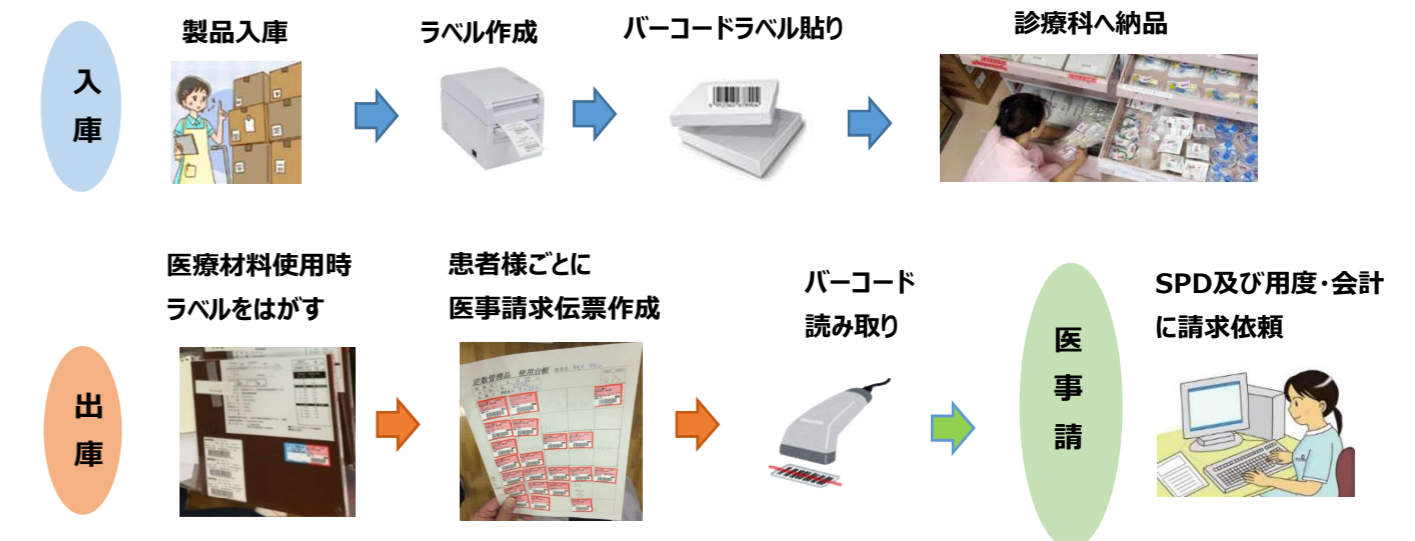
★RFID在庫管理システムとは

- ・現在、あらゆる病院で起きている医療材料の在庫管理の煩雑さ、棚卸ミス、誤廃棄などで管理ミスによる請求漏れや、定数在庫の不正確性の解消のためにRFIDを使用し、入庫(入荷)から出庫(使用)までを管理するシステムです
- ・病院の中でも医療材料の単価が高価である循環器領域・整形外科領域での部材在庫の管理をシステムチックに簡易で正確に行えます



- 正確な在庫管理
- 棚卸の時間短縮
- 部材の最速探知

2. 血管造影撮影室（カテ室）での現状運用

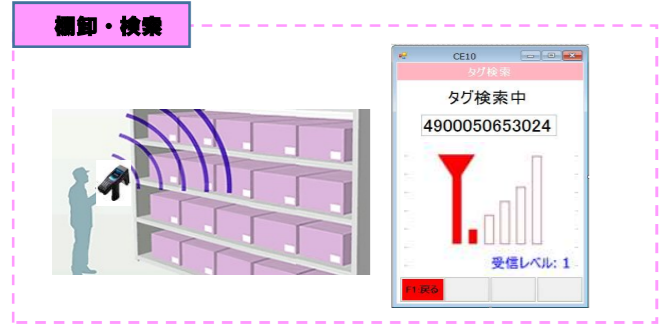


- <現状の問題点>
- ◆在庫数が合わないことがある →使いたいものがなく、最善の治療ができない
 - ◆請求漏れが発生している →長時間のカテになった場合、スタッフが多く介入するため、新品材料の誤廃棄が起きる⇒ **請求漏れ実数：約100万円/年**
 - ◆仕様期限の近いものを使用せず、新しく入庫したものを使用してしまい不良在庫を発生させてしまう
 - ◆院内での棚卸に業者の人手がかかっている →棚卸は3ヶ月に1回、土曜日に終日5人がかりで行っている

1. システム概要.....カテーテル室でのRFID在庫を管理する場合

- ・カテーテル室に入庫する製品にRFIDタグを貼り付け、製品情報・保管場所を登録、タグを有効化することでデータベースに入庫(入荷)情報を送信。入庫(入荷)情報をもとに棚卸や製品検知を行う機能を保有
- ・患者に使用した部材に貼り付けたRFIDタグを、RFIDスキャナーに読み込ませ、出庫(使用)の合図を出してやり、データベースに出庫(使用)情報を送信し、データ管理が行えます
- ・1人の患者に対し使用した医療材料をリストで表示し、医事請求前データの作成が可能
- ・手技に使われずRFIDスキャナーに読み込んでないRFIDタグのついた製品がゴミ箱に廃棄されるとアラームとランプで警告が行えます

「請求漏れの防止」と「時間効率化」のためのシステム



- <本システムの利点>
- ◆リアルタイムで在庫状況が把握できる(在庫管理)
 - ◆部材が足りなくなる状況を防ぐことができる(定数維持)
 - ◆請求漏れを防ぐことができる(医事請求もれ防止)
 - ◆棚卸の時間が短縮できる(正確かつ簡単な棚卸)
 - ◆使用期限(UBD)切れでの不良在庫を減少できる

3. 導入事例 (京都桂病院.....585病床/年間カテ数 609件)



<カテーテルRFID在庫管理システム DI@SSET-HIC 導入>

- ◆本システムの導入後の評価
- ・買取品、預託品の在庫分類が明確になり、その棚卸も簡易で時間も短縮され、人件費も抑制できている
- ・従来通りの紙運用をなくし、RFIDタグをカテーテル手技医療部材(償還があるもの)に貼り付けRFIDにて仕入・在庫管理を行い、1980種類、平均在庫4000個の管理を、RFIDで対応することで、定数在庫の安定化・使用期限切れ部材の選別・誤廃棄防止・棚卸の精度が向上している。その結果、病院、医療販社、医材メーカーでの負担金が減少し、費用対効果も年々効果がでている
- ・誤廃棄も激減しており、請求漏れも激減している
- ・今後の期待として、カテーテル部材にとどまらず、オペ室はもとより病院内の物品流通の中継管理、在庫管理

【システム連携について】

- ・電子カルテ及び、オーダリングシステムと連携し、患者情報の入手・紐付け、その先の医事会計システムとの接続・構築は、病院様及び各ベンダー様との相談が必要となり、システム構築のアリゲと、それに係る費用が別途発生いたしますことご了承願います。

【お問い合わせ先】 **菱電商事株式会社 ヘルスケア部**
 〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15(4階) TEL 03-5396-6128 FAX 03-5396-7365